

議会だより

目次	Contents
委員会報告	2～4P
一般質問	4～12P
議案の審議結果	13P
次回定例会日程	14P



10月9日 糸魚川市駅伝競走大会

第5回定例会を開催 ～8月29日から9月22日まで～

本定例会では、決算認定、条例関係、補正予算などの議案25件、陳情1件、議員発議2件を審議しました。本定例会における審議結果は、13ページをご覧ください。

また、17人の議員が一般質問を行いました。

議会の動き

7月

- 4日 新潟県上越市議会視察来市
- 13日 新潟県十日町市議会視察来市
- 15日 建設産業常任委員会
石川県白山市議会視察来市
- 20日 糸魚川・大町二市議会議員連絡協議会
- 22日 新潟県柏崎市議会視察来市
上越三市議会議長会
- 25日 総務文教常任委員会
- 26日 愛知県一宮市議会視察来市
- 27日 愛媛県新居浜市議会視察来市

8月

- 3日 市民厚生常任委員会

- 5日 建設産業常任委員会
- 22日 議会運営委員会
- 29日 本会議(初日)

9月

- 1日 議会運営委員会
- 2日 本会議(一般質問)(5日～7日)
- 8日 市民厚生常任委員会
- 9日 総務文教常任委員会
- 12日 建設産業常任委員会
- 13日 決算審査特別委員会(14日～16日)
- 16日 総務文教常任委員会
- 21日 議会運営委員会
- 22日 本会議(最終日)

常任委員会

市の事務に関する調査及び議案・請願等の審査を行うための常設の委員会です。

本会議で付託された議案等の案件について、3つの常任委員会で審査しました。
各常任委員会の審査件数や所管事項調査の項目、主な質疑の内容（本定例会最終日の委員長報告より抜粋）は次のとおりです。

総務文教常任委員会

9月9日に条例の制定4件、補正予算2件、その他の議案1件、陳情1件を審査し、「駅北子育て支援施設の検討状況について」「令和2年度事務報告書の記載誤りについて」の所管事項調査を行いました。また、9日の委員会における教育委員会の答弁内容に誤りがあったことから、その確認のため16日に「木浦地区公民館の解体工事について」の所管事項調査を行いました。

○糸魚川市立小学校及び中学校設置条例の一部を改正する条例の制定について

質疑 令和5年3月31日に閉校となる木浦小学校の校舎について、今後どのように利活用していくのか。

答弁 自治会や関係住民等の皆様と今後の利活用についてしっかりと協議を行いたい。

○所管事項調査「木浦地区公民館の解体工事について」

質疑 官製談合や県単価の漏えいがあった中、工事は慎重に進めなければならないのに、アスベスト含有建材分析調査の対応を誤り、工事費の追加が必要な事態となった。市の体制に問題はないか。

答弁 既決予算の中でアスベストの対応が可能と判断して工事を進めた。通学路の安全確保を優先し、夏休み中の解体を優先させたためだが、調査結果が判明するまで工期をずらし、予算を確保した上で進めるべきであった。なお、入札自体は適正な手続きを経て落札されたもので問題ないと考えている。

建設産業常任委員会

9月12日に条例の制定1件、財産の取得1件、補正予算1件、市道の認定1件、その他の議案1件を審査しました。また、「大糸線の現状と観光活用について」「駅北子育て支援施設の検討状況について」「下水道使用料の改定について」の所管事項調査を行いました。

○市道の認定について（押上越前西線）

質疑 道を寄贈する者と市、それぞれのメリットは。

答弁 道を寄贈する者のメリットは、市道認定後の維持管理や除雪に係る費用の負担がなくなることである。市のメリットは道路設置に係る工事費や用地費等の支出がないことである。



市道認定について現地視察

○所管事項調査「大糸線の現状と観光活用について」

質疑 糸魚川ならではの観光資源を活かした体験メニューをつくり、外国人観光客向けの戦略を早急に立てるべきでは。

答弁 大糸線沿線の特色を示すということでは、自然や文化が違う外国人観光客の誘致に力を入れていきたい。

市民厚生常任委員会

9月8日に補正予算3件を審査しました。

○社会福祉施設物価高騰対策事業（新型コロナ対応）について（一般会計補正予算）

質疑 施設によってはクリーニングなどの委託費が増加していると聞く。補助対象となる費目は施設光熱費と訪問送迎車両燃料費のみか。

答弁 物価高騰に連動して介護報酬が上がるわけではないため、一定の介護報酬で賄っている直接運営に係る施設光熱費と訪問送迎車両燃料費を対象として補助をしたい。

閉会中の所管事項調査

常任委員会が定例会の会期以外に行う調査です。

総務文教常任委員会

7月25日

- ◎ 定住人口の拡大について
- ◎ 夏季休業期間中の新型コロナウイルス感染症対策について

市民厚生常任委員会

8月3日

- ◎ 糸魚川総合病院の産婦人科診療体制について

建設産業常任委員会

7月15日

- ◎ 下水道使用料の改定について
- ◎ 柵口温泉権現荘の指定管理について

8月5日

- ◎ 駅北子育て支援施設の検討状況について



糸魚川浄化センターを視察

委員会協議会

閉会中や休会中に常任委員会の所管に係る事項その他問題について協議する事実上の会議です。

建設産業常任委員会

7月15日

- ◎ 大糸線の観光活用について

市民厚生常任委員会

8月3日

- ◎ 持続可能な周産期医療体制の実現に向けた今後の方向性について



新潟県福祉保健部地域医療政策課、糸魚川保健所と懇談

議会運営委員会

議会運営をスムーズに進めるために、議会全般にわたる事項について協議・調整する委員会です。

8月22日

- ◎ 第5回市議会定例会の会期及び日程について
- ◎ 請願・陳情の付託について
- ◎ 委員長報告について
- ◎ 決算審査について
- ◎ 令和3年度議会費の決算について
- ◎ 議会運営について

9月1日

- ◎ 追加議案について
- ◎ 議会運営について

9月21日

- ◎ 追加議案について
- ◎ 委員長報告について
- ◎ 議員発議について
- ◎ 閉会中の継続調査の申出について
- ◎ 12月定例会の会期及び日程(予定)について
- ◎ 議会運営について
- ◎ 議員派遣について

議会運営委員会では、本市議会議員を対象に宗教団体「世界平和統一家庭連合（旧統一教会）」との関わりについて調査を行いました。その結果、18人全員が「関係を持ったことはない」と回答しました。

連絡協議会を開催

近隣自治体議会との連絡協調を図るため、7月20日に糸魚川・大町二市議会議員連絡協議会を長野県大町市で開催し、研修会や現地視察等を行いました。

《研修会テーマ》

「大きな水がめとしての北アルプス、そして水のまち大町」
「SDGs未来都市『みずのわプロジェクト』について」



旧酒の博物館を視察

特別委員会

市の重要課題について、専門的に調査研究を行うため、必要に応じて設置される委員会です。

決算審査特別委員会

令和3年度 各会計決算を認定及び可決

本定例会初日に決算審査特別委員会（議長及び議会議選出の監査委員を除く16人の議員で構成）を設置し、審査を行いました。令和3年度の一般会計、6件の特別会計及び4件の企業会計の決算について、全て原案どおり認定及び可決しました。



利根川 正
委員長



和泉 克彦
副委員長



決算審査特別委員会の様子

3 款 民 生 費 　　こども課関係

質疑 保育所等ICT化推進事業が実施できなかった原因は。

答弁 保護者との関係や保育の質の維持などについて、見極めの必要性和業務効率化に向けた細かな検討の必要があり、一旦事業を停止した。令和4年度はICT化の推進を図るために、支援員を配置して、段階的に効率化を進めている。

4 款 衛 生 費 　　健康増進課関係

質疑 糸魚川市の出生数が2年連続で200人を切っているが、産婦人科医確保のめどは立っているのか。産婦人科医が確保できなかった場合の対応は。

答弁 市内には、産婦人科は糸魚川総合病院のみであることから、なんとか確保するための対応をしている。妊婦の方々に不安を与えないような対応をなるべく早く示したい。

※二次元バーコードをスマートフォンやタブレット端末で読み取ると、各議員の一般質問の録画中継を視聴できます。

宮島 宏 議員



問 故中村榮美子さんの紙芝居資料の活用について

質問

- (1) 市に寄贈された中村さんの紙芝居資料の概要と寄贈に至った経緯を伺う。
- (2) その紙芝居資料を今後どのように活用していく予定か。
- (3) 市に寄贈された紙芝居作品や既存の紙芝居作品とテレホン民話などの中村さんの音声を組み合わせたデジタルコンテンツを制作し、地域の民話をより広範に発信する取組についてどう考えるか。
- (4) 紙芝居は極めてアナログのプレゼンテーションであるが、子どもたちの教育に導入することについてどう考えるか。
- (5) 紙芝居師としての中村さんの後継者を育成する必要があると考えるがいかがか。

教育長答弁

- (1) 紙芝居82作品の寄贈を受けたものであり、中村さんの生前の意向を受け、ご遺族から紙芝居の保管と活用の申出があったものである。
- (2) 図書館での展示や読み聞かせに活用するほか、外部の団体などで利活用できるよう検討していく。
- (3) ご遺族に確認をした上で、検討していく。
- (4) 幼稚園や保育園、小学校での読み聞かせなどで紙芝居を活用している。
- (5) 関係団体と協議していく。

問 林道入山線の今後について

質問

- (1) 落石が発生しやすい場所にロックシェッドのような落石防止対策を講じることを検討しているか。諸機関と連携し、より確実な落石対策を検討してはどうか。
- (2) 林道入山線に限らず、迂回路などの臨時看板にも英語併記や二次元バーコードによる文字情報を提供する考えはあるか。

市長答弁

- (1) 今年度中に林道上部の現地調査を行い、その結果を踏まえ、対策工法を検討していく。
- (2) 外国人観光客に対応した多言語表記や周知方法を検討し、分かりやすい情報提供に努めていく。

その他の質問項目

- 持続可能な観光地としてのゼロカーボンパークと環境について



和泉 克彦
議員



問 新型コロナウイルス感染症及びワクチン接種の現状と課題、そして今後について

質問

- (1) 1回目から4回目までの接種状況及び5歳から11歳までの接種率について伺う。
- (2) これまでの接種における副反応と後遺症の報告について伺う。
- (3) 国は新型コロナウイルスのオミクロン株に対応したワクチンの接種を、10月中旬以降に開始する方針を決定したとの報道があったが、行政として今後どのように対応していくのか。
- (4) このことにより3回目、4回目のワクチン接種を控える方がいるかと思われる。現在、どのような反応があるか。また、今後、予想される反応に対して、どのように対応していくのか。
- (5) 厚生労働省の分科会がワクチン接種への協力を求める「努力義務」を5歳から11歳にも適用する方針を了承するなど、国は子どもへの接種を推進する姿勢を示している。この努力義務により同調圧力がかかり、事実上の強制と受け取られかねない懸念もあるが、どのように対応するのか。

市長答弁

- (1) 8月末現在、12歳以上の接種率は、2回目までが約91%、3回目が約81%、4回目が約28%である。5歳から11歳までの接種率は、努力義務がないため、本市では非公表としている。
- (2) ワクチン接種の副反応疑いとして昨年度1件、今年度1件の健康被害の申請を受け付けている。
- (3) 国の方針に基づき、速やかに市民への周知と接種体制の確保を図っていく。
- (4) 早めに接種をしたい旨の意見も多く頂いており、国の方針に基づき、丁寧に説明していく。
- (5) 予防接種の効果と副反応のリスクを理解した上で、保護者や本人が接種について判断することから、正しい知識の周知に努めていく。

その他の質問項目

○糸魚川地域の鉄道を利用した地域観光の連携等について



伊藤 麗
議員



問 糸魚川市における人権教育・啓発推進と、男女共同参画について

質問

- (1) 「令和元年度版新潟100の指標」によると、女性就業率で糸魚川市は県内30市町村中、下から3番目である28番に位置づけられている。この結果を受けて市として何が課題と認識しているか。
- (2) あらゆる暴力の根絶を推進施策として掲げているが、DVの被害に悩む女性の相談窓口と支援体制を伺う。
- (3) ワークライフバランスの向上について、市として現在行っている支援はあるか、また成果があったか。

市長答弁

- (1) 求人側と求職者側の業種等条件のミスマッチによるものと推測しており、女性が就労しやすい環境の整備を進めていく必要があると考えている。
- (2) 福祉事務所を窓口として、相談内容により関係機関と連携しながら対応している。
- (3) 各種啓発事業を活用し、意識の醸成に努めているほか、多様な働き方の推進として、ワーカー養成講座を開催している。

問 子育て支援・親支援について

質問

- (1) 産科存続に向けた取組の進捗と、産前産後ケアの充実についての検討状況を伺う。
- (2) コロナ禍も第7波を迎え、自身や家族の感染や濃厚接触者として自宅待機を強いられ、思うような就労がかなわず、更に物価の高騰が家計に重くのしかかっている。子育て世帯に対する収入制限のない経済的負担軽減措置の必要性について伺う。

市長答弁

- (1) 糸魚川総合病院や県と連携し、医師確保に取り組んでいる。また、産前産後ケアについては、産前産後ヘルパー派遣事業を始め、母乳相談費用助成、産後ケア事業を実施して事業の充実を図ってきたところであり、引き続き安心して出産できるよう取り組んでいく。
- (2) 物価高騰等による子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、子ども1人当たり1万円分の市内共通商品券を支給する事業について、本定例会に補正予算を計上している。



保坂 悟
議員



問 大系線問題と広域観光と地域活性化について

質問

- (1) 大系線のような赤字ローカル線は「生活の足」から「インバウンド観光」に目的を変更し、観光庁を中心に広域観光戦略を大きく展開する国策とし、沿線自治体とJR等の民間とともに連携事業化を目指す考えはあるか。
- (2) 鉄道観光を含めた広域観光バスやタクシーの拡充ができる新潟県、長野県、富山県等とそれぞれの市町村と連携した広域観光公社をつくる考えはあるか。
- (3) 平成27年2月27日の一般質問で戦略的観光公社の提案をしたが、既存の観光協会を拡充する方針であった。糸魚川市の四季を楽しむ戦略、ターゲットを絞った安定的な利用者の確保、通年ガイド兼各種インストラクターとなる人材の確保と育成、広域で稼ぐため他市町村の施設を利活用する観光ルートの開発、他市にはない楽しみ方を提供するための観光戦略が必要である。こうした取組のために改めて糸魚川市観光公社の設置を提案するが、検討する考えはあるか。

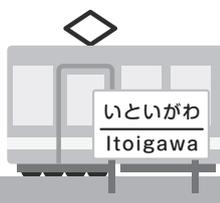
市長答弁

- (1) 引き続き大系線活性化協議会や北アルプス日本海広域観光連携会議等を構成する沿線自治体、JR等関係機関と連携を図り、市民と協働し広域的観光に取り組んでいく。
- (2) 広域連携を進める中で、必要に応じて検討していく。
- (3) 今後ともDMO*である糸魚川市観光協会を中心に、市、商工団体、各事業者等が一体となった観光戦略により取り組んでいく。

その他の質問項目

- 学校等におけるSDGs（持続可能な開発目標）の取組について
- 糸魚川市におけるSDGs（持続可能な開発目標）の取組について
- 農林水産業と福祉事業との連携について
- 教職員へのサポート体制について

*DMO…マーケティングに基づく観光戦略の策定・推進や、地域内の幅広い関係者との合意形成など、観光事業のマネジメントを担う機能・組織。
Destination Management Organizationの略。



利根川 正
議員



問 農業の肥料、燃料の支援と農業の取組について

質問

- (1) 国は化学肥料を2割低減した農業者に対して、肥料コスト増加分の約7割を補填する補助を打ち出した。市の対応について伺う。
- (2) 農家のビニールハウス栽培にかかる燃料代、住宅の暖房代、特に高齢者世帯の灯油代などに対する補助について市の考えを伺う。
- (3) 農地の集約化と人の確保、育成、農地保全による荒廃防止などを目指す「人・農地関連法」について、分散錯圃^{（注）}の状況にある農地を使いやすくまとめるため、将来の農地利用の姿を描き、計画的に集積・集約化を進め、協議の場を設けて話し合いを行って地域計画を策定するとあるが、それに向けた市の方向性と考えを伺う。
- (4) 農業委員会は関係機関の協力、農業者の意向を踏まえ、目標地区の素案を3年程度のうちに作成するとあるが、それに向けた市の考えを伺う。
- (5) 地域における新規就農者のサポート体制構築事業は、就農相談から研修、就農後の定着までサポート体制を支援するものであるが、市の支援体制について伺う。
- (6) 上越市清里区では、農家の高齢化による担い手不足を解決するため、星の清里協同組合を立ち上げ、県内外から職員を採用し、複数の農業法人に派遣する取組を行い、次世代の育成と冬場の雪下ろし支援も実施している。このような活動組織を市でも進められないか。

市長答弁

- (1) 市も国の支援と併せて、肥料価格の増加分の一部を支援するため、本定例会に補正予算を計上している。
- (2) 国や燃料価格の動向を注視しながら、必要に応じて検討していく。
- (3) 市内の全ての集落協定が、戦略策定のためそれぞれの地域が目指す将来像について話し合いを進めており、その将来像を踏まえ、市が地域計画を策定していく。
- (4) 地域が策定する集落戦略を踏まえ、農業者の意向を把握しながら、農業委員会が目標地区の素案を作成していく。
- (5) 就農相談から就農後の定着まで、関係機関と連携し、引き続き支援していく。
- (6) 農業においては、通年雇用が難しいため、異業種との連携による人材派遣事業は有効な手段であるが、課題も多いと考えている。

その他の質問項目

- 特殊犯罪の防止と対策について



古畑 浩一
議員



問 政治と宗教。故安倍晋三元首相と行政の関わりについて

質問

- (1) 市として、ピースロードなど世界平和統一家庭連合との関わりはないのか、市長個人としてどうか。
- (2) 安倍元首相の記帳所はなぜ行政が設置したのか。前例はあるのか。
- (3) 国葬にはどう対応するのか。

市長答弁

- (1) 市及び私個人として世界平和統一家庭連合とは、現在確認できる範囲では関わりはない。
- (2) 駅北大火の際に、現職の内閣総理大臣として早期に当市を訪れ、被災者を励ましていただき、また、復旧・復興に多大なるご尽力をいただいたことに対し、市民の弔意を受ける場所が必要と判断し、私が市長に就任してから初めて設置したものである。
- (3) 適切に判断していく。

問 権現荘指定管理について

質問

- (1) 指定管理に至った経緯は。
- (2) 4億円もの経費をかけリニューアルし、民間移譲を目指したものの、突然の市長判断により株式会社能生町観光物産センターに特命随意契約したのはなぜか。
- (3) 指定管理の条件はどのように変更されたか。
- (4) 経営課題は何か。

市長答弁

- (1) (2) 平成27年の施設改修後、早期に民間運営に移行するため、観光事業の実績がある株式会社能生町観光物産センターを公募によらない特命随意契約で指定管理者としたものである。
- (3) 応募資格を緩和し、応募しやすくしたことに加え、宿泊等の部門を自由提案としている。
- (4) 光熱費等の固定費の削減が課題と考えている。

その他の質問項目

- 「コロナ第7波」の対応と問題点について
- 人口問題と少子化について
- 新たに発覚した県単価漏えいについて

渡辺 栄一
議員



問 当市における地域おこし協力隊員の高校魅力化コーディネーターについて

質問

- (1) 高校の探究学習への授業支援とは、具体的にどのような内容か。
- (2) 自習スペースの管理運営とは、どのようなものか。
- (3) 県立高等学校3校のそれぞれの課題は何だと捉えているか。人材投入後、何をもちて成果が出ていると判断していくのか。

教育長答弁

- (1) 生徒が自ら課題を発見し、調べ、考えをまとめ、表現するなどの総合探究学習の授業に、コーディネーターが生徒と関わりながら支援している。
- (2) 高校と連携し、勉強の進め方や進路選択に向けた支援などを行っている。
- (3) 各高校の魅力化を進め、入学志願者数を増やすことを目指している。

問 当市のにぎわいの拠点施設「駅北子育て支援施設」計画について

質問

- (1) 費用対効果の分析ができており、加えて新たな施設の建設により、当市の財政に負荷が生じていく危険(リスク)はないのか。
- (2) 市内には、他の既存施設や空き店舗等がたくさんあり、改修・再利用を図っていくことで、限られた予算を「ハコモノ建設」より相談機能の充実などに充てるべきと考えるが、いかがか。

市長答弁

- (1) 建設時において財源の確保に努めるとともに、維持管理費においてもコストの縮減に努めていく。
- (2) 子育て世代の孤立を防ぐために、相談機能の充実とともに、保護者の交流の場を設ける必要があると考えており、引き続き皆様の意見を聴きながら進めていく。

その他の質問項目

- 柵口温泉権現荘の指定管理の運営について
- 当市の諸課題について



近藤 新二 議員



問 2050年カーボンニュートラルの実現に向けた取組について

質問

市の取組について伺う。

- (1) 2050年までの計画について
- (2) 市の地域脱炭素化事業について
- (3) 化石燃料に頼らない電力について
- (4) 市内事業者のカーボンニュートラルの相談窓口について

市長答弁

- (1) 地球温暖化対策実行計画を策定し、事業を推進している。
- (2) 市庁舎の関係では、国が示す削減目標に併せ、市の実行計画・事務事業編を見直し、脱炭素化を推進していく。
- (3) 太陽光や風力、中小水力発電など、再生可能エネルギーの導入促進を図っている。
- (4) 現在、環境生活課を窓口としている。

問 子どもの貧困問題について

質問

市の現状について伺う。

- (1) 貧困家庭の生活保護受給者について
- (2) 子どもが安心して過ごせる居場所と学習サポートについて
- (3) 温かい食事について

教育長答弁

- (1) 8月末現在、市内では18歳以下の子どものいる生活保護世帯は6世帯となっている。
- (2) 全ての子どもを対象として、地区公民館において空き室の開放や、市民図書館などで土曜自習室を開催しているほか、放課後児童クラブでは、一定の学習時間を設けるようにしている。
- (3) 平成30年にひとり親世帯等を対象に実施したアンケートでは、約90%の家庭で大人と一緒に夕食をとっている状況であった。また、こども食堂等の取組に関しては、市内4か所で、市民有志の団体により定期的開催されている。

新保 峰孝 議員



問 高齢者の補聴器購入費助成について

質問

難聴高齢者の社会参加促進のためには、早期発見と補聴器装用、装用後の支援が必要とされているが、どのように考えているか。

また、高齢者の難聴対策として、県内の多くの市が補聴器購入費助成を行ってきている。当市も実施すべきではないか。

市長答弁

社会参加促進のために必要と捉えており、補聴器を含め、介護予防、認知症予防のための社会参加を目的とした補助制度の中で取り組んでいく。

問 小滝川ヒスイ峡ジオエリアへの交通と指定管理について

質問

- (1) 市外からの誘客についてはどのように行い、現状はどうか。
- (2) 交通の利便性確保についてはどのように行っているか。
- (3) 落石等の対策工事はどのように行っているか。
- (4) 白馬山麓国民休養地の運営についてはどうなっているか。前、現指定管理者はどのようになっているか。

市長答弁

- (1) 情報発信と受入態勢の整備などを進めながら、県外旅行社等へのセールスも行っており、コロナ禍における入込客数は徐々に回復している状況である。
- (2) アクセス道路の拡幅などの局所的な改良を行っているほか、定期観光バスの運行やイベント時に小滝駅からシャトルバスを運行するなど、二次交通の確保に努めている。
- (3) 今年度中に林道上部の現地調査を行い、その結果を踏まえ、対策工法を検討していく。
- (4) 平成18年4月から、白馬山麓国民休養地運営協議会が指定管理者として管理しており、令和4年4月5日からは、法人化された株式会社たかなみとなっている。

その他の質問項目

- 新型コロナウイルス感染症対策について
- 入札・談合問題について
- 公職選挙法違反について
- 安倍元首相死去での市の記帳要請について



加藤 康太郎

議員



問 第3次糸魚川市総合計画における図書館政策(整備と運営)について

質問

- (1) 図書館がこれまで担ってきた役割や機能の維持向上に加えて、新たな視点を取り入れた「地域の情報ハブ」としての課題解決型図書館」とも言われる、これからの糸魚川らしい図書館の在り方について検討を始めるべきと考える。外部の専門家による「図書館あり方検討委員会」を設置する考えはないか。
- (2) 図書館法の定めにより設置され、図書館の管理運営に関し図書館長の諮問に応ずるとともに、図書館サービスについて館長に意見を述べる機関となる「図書館協議会」を設置する考えはないか。
- (3) 糸魚川市公共施設等総合管理指針に基づき、施設の種類ごとの方針を示す「個別計画」は、令和3年3月に一部改訂されているが、図書館においては、平成31年2月の策定時のままとされている。「施設カルテ」とともに改訂する考えはないか。
- (4) 図書館(3館)の利用状況と抱える課題など、総合管理指針による分析と評価、整備方針について伺う。
- (5) 糸魚川市図書館窓口等業務委託のメリット・デメリットを伺う。

教育長答弁

- (1) 図書館の在り方について、庁内の関係課による担当者レベルでの検討から始める予定としており、外部の専門家を含めた「図書館あり方検討委員会」の設置も含め検討していく。
- (2) 県内で設置済みの図書館の事例について調査を行っており、引き続き検討していく。
- (3) 図書館の在り方と併せ検討していく。
- (4) 利用者が減少傾向となっていることや、市民図書館の老朽化が課題となっている。整備方針として、市民図書館は、建て替えを視野に入れた在り方を検討することとし、能生・青海図書館については、現在の施設を計画的に修繕することで、長寿命化を図ることとしている。
- (5) 専門業者のノウハウを生かしたサービスの向上や、窓口職員の接遇、資質の向上が期待できることがメリットと考えており、デメリットについては、大きなものはないと考えている。



阿部 裕和

議員



問 道の駅「親不知ピアパーク」及び周辺の整備について

質問

- (1) 令和2年3月27日から令和4年6月30日まで、高速道路の一時退出可能時間が1時間から3時間に延長された。それにより道の駅の利用者数の推移は、どのような変化があったか。
- (2) 老朽化が進み時代に合わず、道の駅として利用しづらい施設となっている。今後の整備計画について伺う。
- (3) 翡翠ふるさと館では、世界最大級のヒスイの原石の展示がされているが、現在の取組状況と今後の展望を伺う。
- (4) 目の前に広がる海の絶景が魅力の親不知ピアパークでの、オートキャンプ場やRVパーク(車中泊施設)等のアウトドア施設の整備の可能性を伺う。
- (5) 親不知海水浴場は、市内に6つある海水浴場の中で唯一シャワー設備のない海水浴場であるが、シャワー設備を始めとした環境整備について伺う。
- (6) 自転車、歩行者に対して国道8号の天険トンネルを避けるよう親不知コミュニティロードに誘導しているが、道路が大きく破損している箇所がある。観光資源としても価値のある親不知コミュニティロードの今後の整備について伺う。

市長答弁

- (1) 国土交通省のホームページによると、利用台数は増加傾向にある。
- (2) 現在のところ施設のリニューアル計画はないが、必要な整備を進めていく。
- (3) 世界最大級のヒスイ原石を活かしたヒスイ文化や観光資源に興味を持っていただけるよう努めていく。
- (4) 施設整備の方向について、指定管理者や関係機関と協議していく。
- (5) 海水浴場開設期間中は、簡易な足洗い場とシャワー設備を設けて対応している。
- (6) 修繕工事を実施予定である。親不知の知名度を活かし、レンガトンネルを含めた観光資源を活用していく。

その他の質問項目

- ヒスイを最大限に活かした取組の推進について
- 認知症に理解あるまちづくりの推進について





東野 恭行
議員



問 駅北地区における核施設(子育て支援施設)の在り方について

質問

- (1) 子育て支援施設整備基本計画の策定について、3巡目の懇談会が終了したが、当該施設の設置について前向きな議論ができたか、否定的であったか、市の感触を伺う。
- (2) 子育て支援施設の機能について、今後、民間事業所と事業参画の可能性も追求しつつ構築していくと考えるが、市が考える子育て支援施設設置の目的と目標について改めて伺う。
- (3) 3巡目の懇談会資料にある「高齢者支え合いセンター」とは何か。子育て支援施設と空間をすみ分けることにより、当該施設は多世代が交流できる場所とするのか伺う。
- (4) 図書コーナー(図書館)と子育て支援施設との相性はどのように考えているか。また、図書コーナーを設けるならば、子育て世代だけに利用を促進したいのか。
- (5) 子育て支援における「屋内遊技場」の設置希望が多くあるとのことであるが、設置場所の適地についての議論があったのか。
- (6) 当該施設の設置により、周辺地区や商店街にもたらす影響の予測と、市としてその地域に期待することは何か。
- (7) 当該施設は設置後20年、30年と市民から親しまれる駅北の「核」となる施設と考えているか。

市長答弁

- (1) 誰もが入りやすい施設を望む声や施設機能充実への期待など、様々な意見を頂いている。
- (2) 悪天候のときの子どもの居場所を求める子育て世代のニーズに対応するため、安心で利便性の高い子育て施設を整備し、市内における子育て環境の充実に図りたいものである。
- (3) 子育て世代だけではなく、高齢者も利用できる施設整備への意見の1つと捉えている。
- (4) 図書は子どもの成長に欠かせないものと考えており、絵本コーナーの設置のほか、学生や一般の方も利用できる図書スペースの設置を考えている。
- (5) 子育て支援に関する以前からの課題と、復興まちづくりの推進や中心市街地におけるにぎわいづくりを併せて、検討を進めてきたところである。
- (6) 新たな人の流れが生まれることで、買物等の経済活動や、まちなか回遊による地域の活気につながることを期待している。
- (7) 子育てに関する包括的支援を進めるとともに、復興まちづくりの推進と中心市街地におけるにぎわいづくりにつなげることで、糸魚川市の未来を担う施設の1つになるものと考えている。

田原 洋子
議員



問 糸魚川駅の利便性向上について

質問

- (1) アルプス口、ヒスイ王国館、それぞれの駐車場の新幹線利用者数は。
- (2) 新幹線利用者は実際に何時間駐車するか調査しているか。
- (3) 受益者負担の原則から、新幹線利用者の駐車料金を無料からある程度有料にする考えはないか。
- (4) アルプス口の近くにあるJRの宿舎跡地を、第3の駐車場として活用する考えはあるか。
- (5) JR大糸線、えちごトキめき鉄道の利用者に対して行った、48時間まで駐車料金を無料にする社会実験の結果はどうだったのか。
- (6) ヒスイ王国館1階の空きスペースに、飲食店の入居者を確保する働き掛けを行っているか。
- (7) コインロッカーの大型化若しくは荷物預かりを、積極的に行う考えはあるか。

市長答弁

- (1) 令和3年度はアルプス口で9,098台、ヒスイ王国館で4,988台であった。
- (2) 昨年度導入したシステムを活用し、利用状況の把握を行っている。
- (3) 利用状況等を考慮しながら検討している。
- (4) 繁忙期やイベント開催時等における臨時駐車場として利用している。
- (5) 平成28年度から30年度に社会実験として実施したが、利用者数はほとんど増加しなかった。
- (6) 市として働き掛けは行っていないが、施設所有者へ現状を確認していく。
- (7) 利用者のコインロッカーに対するニーズを把握する中で、施設所有者と検討していく。

その他の質問項目

- 糸魚川駅北に計画中的の子育て支援施設について
- 買物弱者の対策について



糸魚川駅アルプス口駐車場



中村 実
議員



問 糸魚川市の自然を活用した交流人口の拡大について

質問

- (1) 海の家は海水浴場にはなくてはならない風物詩である。有益な観光として貴重である海の家をこれ以上減らさないよう、今後どのような方策で海水浴客の増加を考えているのか。
- (2) 7月16日、17日に開催されたシートゥーサミットについて、運営体制や参加者など課題等はなかったのか。また、次回開催について伺う。
- (3) 能生の浜ではジェットスキーやプレジャーボートなど、また能生川河口や百川・藤崎・筒石の浜では1年を通し、サーフィンを楽しむ若者が増えてきているが、市としてサーファーとの情報交換など、連携した取組を行っているのか。
- (4) トライアスロンやグランfondなど、海や山を使ったスポーツの大会が開催されなくなった大きな要因は、ボランティア不足ではないかと思う。開催当時は地域への経済効果も相当なものがあったと思う。再度開催することにより、市外や県外から多くの参加があると思うが、市の考えを伺う。
- (5) 市は今後、海・山の自然を活用したアクティビティ体験者を増やす必要があると思うが、市の考えを伺う。

市長答弁

- (1) 従来の長野県などのファミリー層だけでなく新たなターゲットやニーズ調査を行う中で、海での楽しみ方を見える化し、情報発信を行うことにより、海水浴を含めた誘客に努めていきたい。
- (2) 細かな反省点はあるが、関係者の皆様のご協力により、運営ができたものと考えており、参加者からも好評を頂いた。来年度の開催については、引き続き県や上越市・妙高市と連携していく。
- (3) これまで市内外のサーファー団体から積極的にビーチクリーン活動に参加していただいているところであり、引き続き意見交換等を行っていく。
- (4) 過去に行われた事業は、ボランティアの確保に苦労されたと聞いている。事業継続には、理解あるボランティアに支えられることが必要と考えており、有償ボランティアの考え方も含め検討していく。
- (5) 当市は、海、山、川、雪など、様々な自然を活用したアクティビティが可能であると考えており、ニーズを踏まえ、関係者と意見交換をする中で、新たなアクティビティの拡大に取り組んでいく。

田中 立一
議員



問 入札業務関連について

質問

- (1) 健康づくりセンター「はびねす」の入札業務について
 - ① 平成18年の健康づくりセンター基本設計業務委託では、プロポーザルで公募し、落札した設計業者が基本設計業務及び実施設計業務を行っているが、その後、平成21年に再度、実施設計業務を発注しているのはなぜか。
 - ② 屋内プール増築実施設計業務委託では県単価の漏えいが発覚したが、元市職員の県単価漏えいは今回が初めてとは思えない。市はどう認識しているか。同じ職員と設計業者が関わった「はびねす」1期工事に遡って調査する考えはあるか。
- (2) 駅北大火復興事業の入札について
 - ① 県単価の漏えいが新たに2件発覚した。駅北大火復興市営住宅実施設計業務委託での漏えいは、「はびねす」屋内プールと共に元市職員の関わった案件だったが、最初の3件と今回の2件の違いをどのように捉えているか。
 - ② 市営駅北復興住宅、にぎわい創出広場、防災広場備蓄倉庫における設計から建築関係までいずれの入札も落札率が99%近くと高く推移していることについて、どのように捉えているか。

市長答弁

- (1) ① 平成19年に姫川病院閉院による地域医療維持への財政負担増加に伴い、健康づくりセンターの建設を延期した。その後、建設資材の価格高騰により、施設の規模などを見直すこととしたため、再度、設計を行ったものである。
- ② 過去5年に遡って設計業務委託の内容の確認を行った結果、3件の協定違反の事案が確認されたものである。「はびねす」1期工事の調査については、関係図書の有無を確認し調査する。
- (2) ① 最初の3件は設計業務委託の積算業務の中であり、今回の2件は、工事が発注されて工事監理業務委託の変更積算業務の際に、県単価が明記された当初の設計書を受託業者に渡していたものである。
- ② いずれもプロポーザル方式により業者を選定し、選定業者と随意契約を行ったため、落札率が高いものと考えている。建築工事については、防災広場備蓄倉庫は96.2%であったが、市営駅北復興住宅及びにぎわい創出広場は、いずれも約99%と高くなっている。

その他の質問項目

- ヤングケアラーについて
- 農林業について
- 神代桜の宇宙桜について
- 動物愛護の取組について



田原 実
議員



問 市街地の活性化、大町区「子育て支援施設整備」及び押上区「新駅周辺整備」における、にぎわいづくりと民意の反映について

質問

- (1) 大町区「子育て支援施設整備」について
 - ① 子育て支援部分の設計、運営について、子育て支援以外の公共施設部分の設計、運営について伺う。
 - ② まちの中心部に住みながら日常の買物や交通に不便を感じ暮らす大町被災者住民への対応について、改めて伺う。
 - ③ 駅北復興まちづくり計画を始め様々な計画が作られてきたが、行政の対応は被災者・住民に向き合い、対話を重ね、被災者・住民が納得する計画の進め方だったのか、改めて伺う。
 - ④ 子育て支援施設整備をDBOとすること、建設費を10億円から12億円とすることの根拠を伺う。
- (2) 押上区「新駅周辺整備」について
 - ① 令和3年3月13日の駅開業後の周辺整備について、押上区のまちづくりの計画との整合性、地区要望への対応について伺う。
 - ② 令和4年8月18日に開催された「押上駅×糸魚川 探究活動プロジェクト」提案発表会から知る若い人たちのアイデアと、実現に向けての市の取組について伺う。

市長答弁

- (1) ① 設置目的や使用形態などを基本計画で明確にし、民間事業者から担っていただきたいと考えている。
- ② 地域における支え合いの体制が整ってきており、引き続き地域課題の解決に向けて、一緒に取り組んでいく。
- ③ 被災者説明会や市民会議等で説明と協議をしてきており、被災された方々から一定のご理解を頂きながら進めてきたと認識している。
- ④ 建設費については、現在想定している施設の延床面積等を基にした概算である。
- (2) ① 駅開業後においても押上区の皆様と定期的なまちづくりについて協議する機会を設けており、今後も地元の要望を踏まえ、駅周辺の道路等の整備を計画的に進めていく。
- ② 高校生ならではの貴重な提案の実現に向けて、いちごトキめき鉄道や押上区と協議を進めていく。

横山 人美
議員



問 発達障害がある市民とその家族が、糸魚川で安心して暮らし続けることができるための、それぞれのライフステージにおける正しい理解と雇用の促進、並びに、それを支える教育と福祉と地域社会との連携の必要性について

質問

- (1) 0歳から18歳までの子ども一貫教育方針における、発達障害児への支援と課題について伺う。
- (2) 市民に向けた発達障害への周知と理解の推進はどのように行っているか。
- (3) 市内企業に向けた発達障害への周知と理解の推進はどのように行っているか。
- (4) 市内における発達障害者の一般就労の現状と課題について伺う。
- (5) 市内における農福連携の現状と課題について伺う。
- (6) 乳幼児期から成人期まで、発達に特性がある市民のライフステージに応じた切れ目のない支援体制の構築のために、必要なことは何と捉えるか。

市長答弁

- (1) 相談支援体制の活用や園、学校での合理的な配慮を重視して、インクルーシブ教育※の着実な定着を図っている。発達障害傾向のある子どもたちへの早期対応や、保護者を始めとした、関わる大人の理解などが課題と捉えている。
- (2) こころのバリアフリートークや高校への出前講座等で周知している。
- (3) 就労支援事業を通して周知し、理解促進を図っている。
- (4) 発達障害は一見すると分かりにくく、周囲が本人の困り感に気付いたり理解したりすることが難しい場合や、一律的な制度の支援が受けづらい現状がある。そのため、家庭、医療、教育、福祉の各分野が連携した支援体制の構築と、企業や地域における障害についての理解が課題と捉えている。
- (5) 一人ひとり異なる障害特性に対する理解や支援が必要であり、コーディネーターやジョブコーチなどの人材の確保、育成が課題であると考えている。
- (6) 現在もライフステージに応じた切れ目のない支援となるよう取り組んでいるが、更に支援を行う関係機関の連携を深めることが重要と考えている。

その他の質問項目

○高齢者がいつまでも健康で、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるための、地域における支え合い体制の維持・強化の取組の推進と地域包括支援センターとの連携について

※インクルーシブ教育…障害のある者となない者が共に学ぶこと。

議案の審議結果

第5回定例会（8月29日～9月22日）

番号等	件名	結果
52	令和3年度糸魚川市一般会計歳入歳出決算認定について	認定
53	令和3年度糸魚川市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
54	令和3年度糸魚川市国民健康保険診療所特別会計歳入歳出決算認定について	認定
55	令和3年度糸魚川市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定
56	令和3年度糸魚川市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
57	令和3年度糸魚川市有線テレビ事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
58	令和3年度糸魚川市集合支払特別会計歳入歳出決算認定について	認定
59	令和3年度糸魚川市ガス事業会計決算認定及び利益の処分について	認定及び可決
60	令和3年度糸魚川市水道事業会計決算認定及び利益の処分について	認定及び可決
61	令和3年度糸魚川市簡易水道事業会計決算認定について	認定
62	令和3年度糸魚川市下水道事業会計決算認定及び利益の処分について	認定及び可決
63	糸魚川市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
64	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	可決
65	糸魚川市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	可決
66	糸魚川市立小学校及び中学校設置条例の一部を改正する条例の制定について	可決
67	糸魚川市特定賃貸住宅条例の一部を改正する条例の制定について	可決
68	市道の認定について	可決
69	財産の取得について（ロータリ除雪車（11t級 マルチプラウ付））	可決
70	市営土地改良事業計画の概要について	可決
71	令和4年度糸魚川市一般会計補正予算（第4号）	可決
72	令和4年度糸魚川市国民健康保険診療所特別会計補正予算（第1号）	可決
73	令和4年度糸魚川市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可決
74	損害賠償の額の決定及び和解について	可決
75	令和4年度糸魚川市一般会計補正予算（第5号）	可決
76	令和4年度糸魚川市一般会計補正予算（第6号）	可決
陳情7	「私学助成の増額を求める意見書」に関する陳情	みなし採択
発議5	私立高校の公費（私学助成）増額を求める意見書（国宛て）	可決
発議6	私立高校の公費（私学助成）増額を求める意見書（県宛て）	可決

議案の審議結果

議案第71号令和4年度糸魚川市一般会計補正予算(第4号) に対する修正動議

6人の議員から、原案に対し木浦地区公民館解体工事に係る事業費520万円を減額する修正動議が提出されました。修正案は、記名投票の結果、賛成少数で否決されました。

結果	賛成	反対	利根川 正	阿部 裕和	横山 人美	新保 峰孝	松尾 徹郎	伊藤 麗	田原 洋子	渡辺 栄一	加藤康太郎	東野 恭行	保坂 悟	田中 立一	和泉 克彦	宮島 宏	中村 実	近藤 新一	古畑 浩一	田原 実
否決	6	10	×	欠席	×	○	-	×	○	○	×	×	○	○	×	×	×	×	○	×



議場での投票の様子

※○は賛成、×は反対
 ※議長（松尾徹郎議員）は表決に加わりません。
 ※修正動議とは……原案に対し、議員が修正の提議を行うとき提出する動議のこと。

キャリアフェスティバルにブース出展

10月7日に市内の中学3年生を対象とした「キャリアフェスティバルいといがわ2022」が開催され、市議会のブースを出展しました。ブースを訪れた中学生に市議会議員の仕事ややりがいなどを話しました。



糸魚川市議会ブースでの様子



57の事業所が出展

議会を傍聴
しませんか

12月市議会定例会の会期及び日程(予定)

日	月	火	水	木	金	土
11/27	28 本会議 初日	29	30	12/1 議会運営 委員会	2 本会議 一般質問	3
4	5 本会議 一般質問	6	7	8 総務文教 常任委員会	9 建設産業 常任委員会	10
11	12 市民厚生 常任委員会	13	14 議会運営 委員会	15 本会議 最終日	16	17

- 本会議は6階議場、委員会は6階第二委員会室で午前10時から開始します。
- 本会議(議場)の傍聴席入口は7階です。市役所正面玄関に入って左側のエレベーターをご利用ください。
- 本会議、委員会いずれも各入口に受付簿がありますので、住所と氏名を記入して入場してください。
- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスクを着用し、他の傍聴者と間隔を空けてお座りください。

※12月定例会で議題とする請願・陳情は、11月18日(金)までに提出されたものになります。詳しくはお問合せください。

市議会をホームページでご覧いただけます。

市議会ホームページで、本会議の生中継映像、録画映像及び
予算審査特別委員会の録画映像の配信を行っています。

※本会議及び予算審査特別委員会の録画映像はYouTube「糸魚川市議会
チャンネル」で配信しています。



本会議
生中継配信



本会議
録画中継配信



市議会ホームページは、「糸魚川市議会」
で検索いただくか、下の二次元バーコード
をスマートフォン等で読み取るとご覧いた
だけます。

糸魚川市議会



糸魚川市議会
ホームページ